

目的

特別管理産業廃棄物である感染性廃棄物は、密閉性、堅牢性、耐貫通性等を有する容器により、適切に処理することが求められています。

感染性廃棄物評価事業は、医療関係機関等の事業者に対して容器選定の参考となる情報を提供し、適切な容器の普及を図ります。

事業の特徴

- ・ 容器供給事業者の申込みに基づき評価格付けします。
- ・ 強度性能に焦点を当てた容器の評価格付けです。
- ・ 評価は、「優」、「良」、「可」の3段階で格付けします。
- ・ 海外基準・規格との整合性を考慮した評価基準・試験要領を設定しています。
- ・ 評価の透明性を確保しています。

評価のポイント

評価の主な事項	評価の主なポイント
容器の性能等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱上安全か ・ 環境への影響は無いか ・ 適切に情報が表示されているか
容器の性能評価試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準・規格へ適合するか ・ 記録、報告が適切か ・ 責任者が明示されているか
容器の生産における品質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に品質を管理しているか ・ 計画的に品質を管理しているか

表示について

評価格付けを受けた容器には、バイオハザードマークが必ず表示されています。マークの色により、容器の種類がわかります。使用用途に応じて適切な容器をお選びください。

			
性状	液状・泥状	固形状	液状・泥状・固形状
鋭利物	×	×	

表示例



バイオハザードマーク

OR 00000

- ・ 本容器は、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが設置する感染性廃棄物容器審査委員会において評価格付けされたものです。
- ・ 評価格付け：「良」
- ・ 評価基準を満足する容器です。

格付け容器の公表

評価格付けを受けた容器は、当センターのホームページで情報を公表します。容器の選定の際は公表情報をご活用ください。

URL http://www.jwnet.or.jp/assessment/youki_ichiran.shtml

お問合せ先

JW

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター
調査部

TEL:03(5275)7111 FAX:03(5275)7112

e-mail: chousa@jwnet.or.jp

URL: <http://www.jwnet.or.jp>

感染性廃棄物容器評価



感染性廃棄物

適切な容器をお使いですか？


このマークが目印です

格付けにより星の数が違います

優：
良：
可：

容器選定のポイント 1

落としても大丈夫？




格付けされた容器は、**落下試験に合格**




容器選定のポイント 2

積重ねても大丈夫？




格付けされた容器は、**積重ね試験に合格**

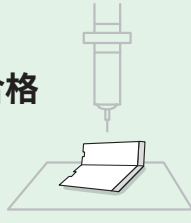


容器選定のポイント 3

針を入れても大丈夫？



格付けされた容器は、**耐貫通性試験に合格**



容器選定のポイント 4

倒しても大丈夫？



格付けされた容器は、**転倒試験に合格**



「優」、「良」、「可」の違い

評価格付けは、「良」を基本としています。「可」は、一部の試験について試験条件を緩和しています。（「良」の試験条件の約7割に設定）

「優」は特別な取扱条件への対応を想定しています。容器を選定する際は、評価格付けを参考にして、適切な容器をお選びください。

試験条件

	優(一例を示す)	良	可
把手強度	定格容量(ℓ)×0.6×1(kg/ℓ)kg		定格容量(ℓ)×0.42×1(kg/ℓ)kg
落下強度	120cm	100cm	70cm
積重ね強度	300cm以上	250cmを超えない 最大の段数	175cmを超えない 最大の段数
耐漏洩性	容器からの漏れ及び立地面の濡れが観察されないこと		
耐貫通性	平均値(A):15N以上 最小値(M):12.5N以上		A:10.5N以上 M:8.7N以上
耐水性	吸水量:15g/ℓ以下		
転倒強度	150cmを超えない 最大の段数		105cmを超えない 最大の段数

感染性廃棄物容器評価事業は、評価格付けされた容器の安全性を保障するものではありません。取り扱いには、容器供給事業者の指示に従い、慎重に行ってください。
なお、ご購入の際は、容器供給事業者に性能等をご確認ください。